

ひがし

No. 206

'52 12/15

広報

しらかわ

人口の動き

—10月末住民登録人口から

世帯数	952	世帯
人口	3,938	人
転入	2	人
転出	5	人
出生	8	人
死亡	4	人

先月と比較して 1人増
昨年と同月と比較して 15人減

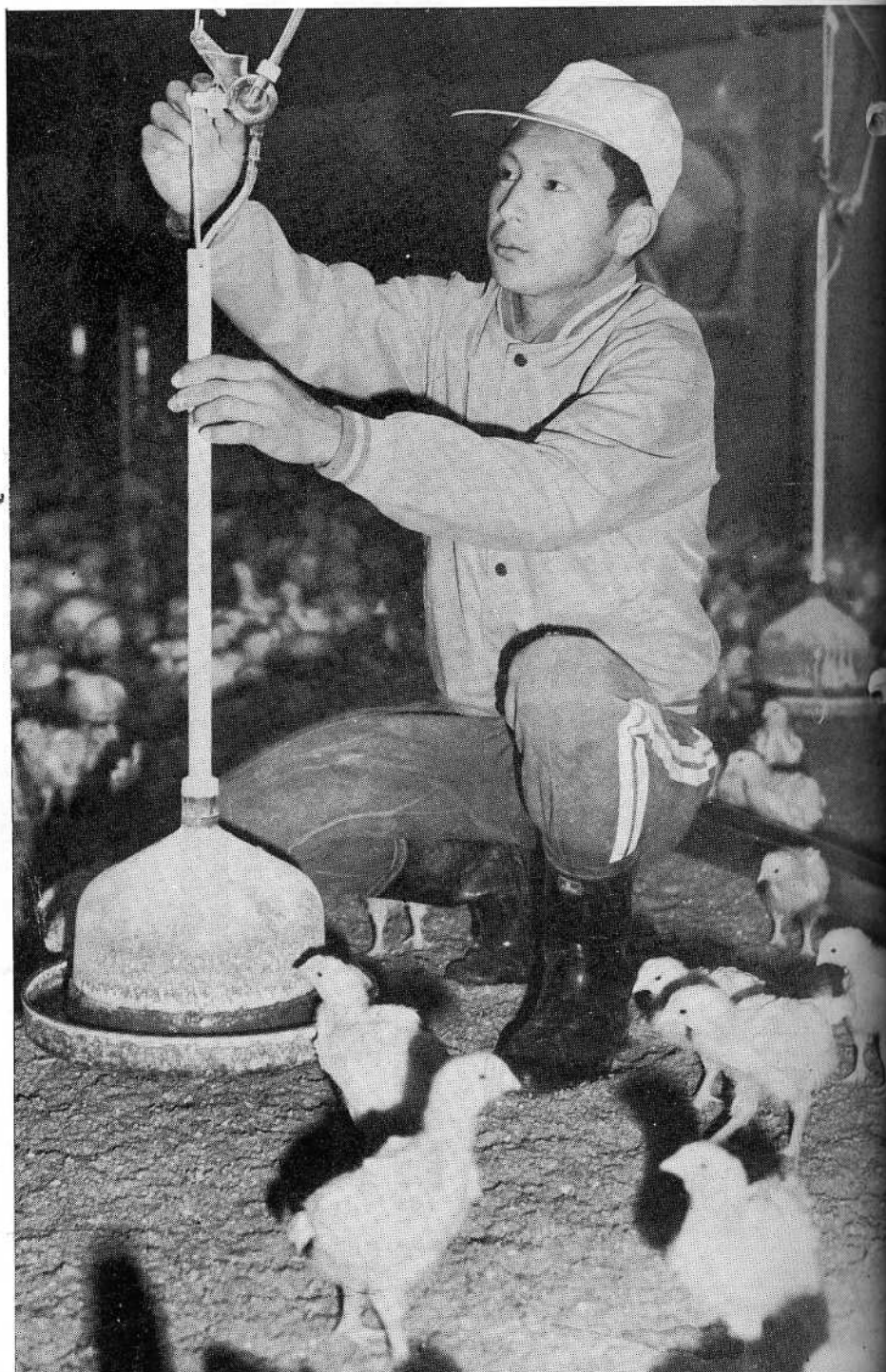
■ 発行 / 岐阜県加茂郡東白川村 ■ 編集 / 企画広報課 ■ 印刷 / 関市中部印刷

働く若者

日本人の重要なたんぱく源となっている鶏肉。

畜産は村の農業振興の4本柱のひとつ。養鶏は肥育牛とともに重要な部門を占めています。

一鶏舎を新築し、お父さん（新二さん）とともに2万5千羽のブロイラー飼育に励む 一上親田早瀬政広君（20歳）



主な内容

- 米の生産抑制……………P 2～3
- 77をふりかえって…P 4～5
- 加茂駅伝で5位入賞……………P 6
- 青少年の健全育成……………P 7
- 新しい民生委員決まる……………P 8
- 村誌編さんだより……………P 9
- ふるさとへの便り……………P 10
- けいじ板はP 2・3の下欄

米を考える

今年は何年来の豊作でしたが……

変換を迫られる米作り

来年の生産抑制は十六ヘクタに決定

すでに新聞・テレビなどでご存知のように来年から米の生産抑制が大幅に行われることになり、全国の農村で大きな反響を呼んでいます。

これは単に水稲作農家だけの問題ではなく、農業の根本をゆるがす問題であり、農業村である私たちの村も、これによって何らかの変換を迫られることとなります。そこで私たちの村における「米」というものを見直し、これからの方向を探ってみたいと思います。



△ 農協の米倉庫に次々と積みこまれるお米

生産抑制は

なぜ必要か

昭和五十三年度以降の米生産抑制は、正式には「水田利用再編対策事業」と呼ばれ、長期的な視野にたつて米の消費と生産のバランスをとるために、水田は米を作るという観念を改めて、水田の利用の形を再編成しよう……というのがねらいになっています。

もちろん、この背景には消費より生産の方が毎年百七十万トンも多いというダブツキと、生産者から高く買って、消費者に安く売るといふ逆ザヤを解消しなければ、食糧管理制度が破産してしまうという事情があります。

その意味では、この対策事業は必要ですが、それがそのまま農家や農村に受け入れられないところにこの問題のむづかしさがあります。

けいせいばん

戸籍の窓



誕生おめでとう
ございます。

(十一月)

(平) 小林 正二 朱実 二女

(平) 藤井 昭司 周司 長男

(上親田) 大坪 兼行 奈津恵 二女

(平) 栗本 忠行 忠 二男

(日) 向桂川 勇吉 友美 長女

(平) 古田 公平 麻子 長女

(日) 向安江 哲男 一郎 長男

(日) 向安江 明雄 延枝 長女



いつまでも
おしあわせに

(十一月)

今井 光 (西洞)

安江 礼子 (白川町)

安江 博 (栃山)

村雲 直子 (西洞)

米作りは

農業の大黒柱

私たちの村では、水稲、茶、まゆ、畜産を「農業四本の柱」と呼んで振興を図ってきました。それは円グラフに表した昭和五十一年度の農業生産額を見ると良く分ります。今年もこの比率は大差ないでしょうが、この中で水稲は十八割を占めて第三位になっています。

ここで第三位という順序はあまり意味の無いもので、要するに農家個々の経営の中にどれだけの重さをもっているかということが大切ですが、そういう点では米は五百五十戸の農家のほとんどが作っており、最も大切な自家用米を確保し、残りは販売して経営の一環としています。

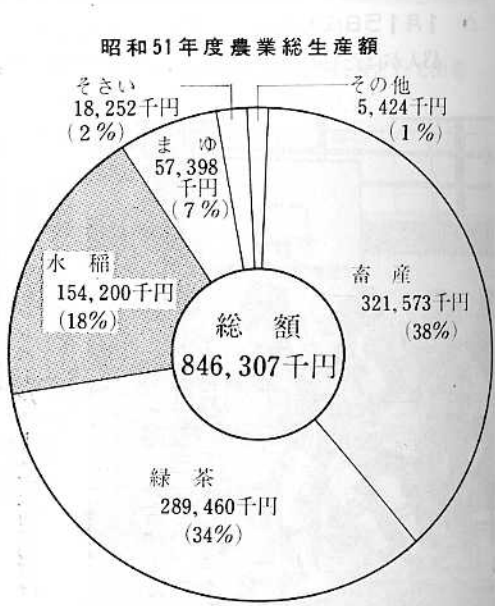
言い換えれば、東白川の農家は米を基本にして経営しているわけ

で、四本の柱の中でも大黒柱は昔も今も米なのです。

米の生産抑制は今にはじまったことではなく、昭和四十五年から行われていますが、生産を抑制するためには米はもちろん、他の作物さえも作らずに遊ばせておく、いわゆる休耕地でも良い、という政策は、農村の荒廃と農民の心を奪った失政であるといわれました。その証拠には、八年間生産を抑えてきて今日なお生産の過剰はいぜんとして続いています。

このことは農民にとって米に代る作物が無かったからです。現在の暮らしを確保するためには限られた耕地で、できるだけ安定した収益をあげなければなりません。

今の日本で一番安定した農作物は米であるという事は、野菜の暴落や、黒字減らしのための輸入攻勢にゆれる牛肉などの実例を見れば良く分ると思います。



実施しなければならぬ十六ヘクタール

このような状況の中で、来年の生産抑制面積として、私たちの村へ割り当てられたのが十六ヘクタールであり、これは村の水田総面積の約九・六割にあたります。

昭和五十三年度以降の転作対象物と奨励補助金の額

作物名	十町当たりの奨励補助金額	備考
大豆・麦・ソバ・飼料作物・桑・果樹	五一,〇〇〇円	この他に集团的に転作した場合とは特別加算として八千円〜一万二千円の上積みがあります。
野菜・雑穀・養魚・植林 農業用施設用地	三六,〇〇〇円	
農協へ転作などを預託する場合	三六,〇〇〇円	

※金額は標準であり、反収によって差があります。

昨年までの稲作転換では、農家の自主的な転作によって村全体で約八ヘクタールが実施されてきましたので、来年は倍の面積が割り当てられたわけですが、今までと違っているのは、これだけはどうしても実施しなければならぬ面積であるということです。

村では十二月中旬に二回程度農事改良組合長会議を開いて、対策を協議し、引き続き来年少々部落座談会を開いて農事改良組合の中で協力して転作を推進する方向ですすめたいと思っておりますが、この水田利用再編対策事業は来年から十年間という長期にわたって行われますから、目先だけにとらわれず米依存の農業経営を転換して新しい型の農業が生れるためのキツカケになるよう最善の努力を尽したいと思っております。



おみやみ 申しあげます

（十一月）
青木 又六 82歳（日向）
安江 多十 85歳（大明神）
今井 みよ 75歳（中通）
今井 傳一 69歳（加舎尾）

■電話局だより
—美濃白川電報電話局
公社電話の自動ダイヤル化には全村あげてのご理解とご協力をいただきありがとうございます。

長らくご不便をおかけしましたが、これからは皆さまの使いやすい電話としてご利用をお願いします。

電話に関するお申し込み、お問い合わせはこれからはすべて電話局で取り扱いますので、次の電話をご利用ください。
（〇五七四七）二一四〇一

電話工事のお申し込みは早め

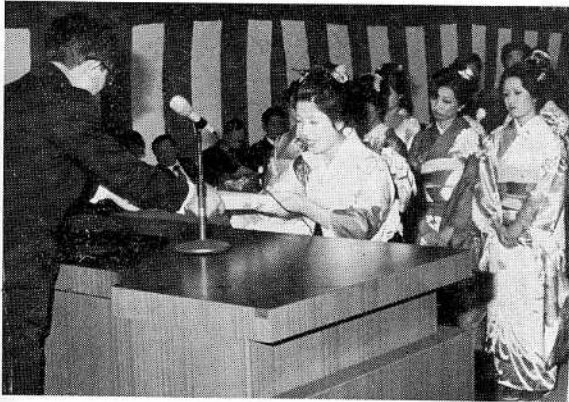
に

家屋の新築、店舗の改装などで電話移動、親子電話など呼び出しベルなどの取り付け工事を希望されるときは、少なくとも工事の一週間前までにご連絡ください。

▽おわびと訂正
十一月一日発行の五十音別電話帳の中で誤りがありました。おわびして訂正します。
二〇八頁 安部博之三〇四一は 安倍博之が正当

けいじん

んなことが....



△ 1月15日成人式

43人がはたちの春を祝福され、大人の仲間入り。



◁ 七月三日郡体育大会
本村バスケットボールチーム七年連続優勝
他の種目でも善戦



昭和五十二年もあとわずかで幕を閉じようとしています。
そこで今年の村のできごとをいくつかひろってみました。気候的には多少の異常気象はあったものの大きな災害もなく穏やかな年でした。そしてなんといっても統合小学校の建設が一番大きな話題だったでしょう。ホットニュースは歌舞伎の公演など.....
皆さんにとってこの一年はどんな年だったでしょう。こたつを囲ごみ、村のできごと、家庭でのできごとをふりかえり話し合ってください。

▽ 5月10日一番茶始まる

荒茶生産量は霜害で前年を31%下回ったが、平均単価は37%アップ。県茶品評会で1等1席に3点入選、白川茶の名声を高めた。



77 主なできごと

- 岐阜県知事選挙(2月・6日)
厳寒の中での選挙、投票率は
八三・九割
- 青年団の演劇最優秀賞(2・22)
美濃加茂ブロック青年団協議
会演劇大会で五分団の「遠苗」
が最優秀賞に輝く。
- 本村が人権モデル地区に
(4・1)
- 人権モデル地区の指定を受け
毎月人権相談所を開設。
- 白寿大学の開校(6・19)
「いつまでも学ぶ心を」と、
六十歳以上の人たち五十三人が
豊富な学習内容に意欲的にとり
くむ。
- 一日花嫁来村(6・26)
二回目を迎えたこの催しに今
年は十八人の花嫁が村内の各農
家を訪れた。
- 養蚕若者の集い(7・3)
原内の養蚕後継者百四十人が
本村に集い、交歓や養蚕の将来
について熱心に討議。
- 「花子」逝く(7・17)
東白川の名物越原家の長寿コ
イ花子が二百二十六歳で大往生
- 越原橋が完成(7・27)
昭和五十年十一月着工、総工
費三千八百九万九千円をかけた
越原橋(旧西野屋橋)が完成。
- 第二次農耕の認定(7・29)
第二次農業構造改善事業計画
の認定を受けるとともに初年度
事業の神土緑茶加工施設の建設
に着手。
- 成人病予防検診(8・9)

77' あとわずか 今年1年?



- △ 10月27日統合小学校地造成起工
さまざまな曲折のあった統合小学校の建設も
第1期校地造成工事が開始された。



- △ 8月7日県操法大会で3位
自動車ポンプ操法大会に加茂郡代表として出場
した木村第1分団チームは3位に入賞
7月17日の郡大会でも第1分団優勝
第3分団3位に入賞。



- ◁ 9月29日郷土歌舞伎公演
歌舞伎愛好会の努力が実を結ぶ。
「吉例寿曾我対面」など三芸題を熱
演約 800人の観客を魅了させた。

77' 主なできごと

- 九日から三日間にわたり予防
検診を実施し、千四十一人が受
診。受診率は六一・八割。また
健康づくりに積極的な本村の姿
がテレビで紹介された。
商工まつり盛大(8・15)
- 定着したこの商工まつりは、
十五日益に里帰りする人たちに
とって大きな楽しみであり、ま
たふれ合いの場として年々盛り
上がりを見せている。
東中・吹奏楽コンクールで二位
(8・24)
- 中部日本吹奏楽コンクールに
出場した東白川中学校ブラスバ
ンドは二年連続二位に入賞
家畜ふん尿処理施設着工
(11・2)
- 畜産のふん尿を集中的に処理
し公害を防止するとともに良質
な有機質肥料をつくり、土づく
りに期待される。
- 第五回村民運動会(11・3)
- 総合運動場に約二千人が集い
「スポーツできっこ明るい郷
土」「体力づくりはスポーツか
ら」のスローガンのもと、老い
も若きも元氣いっぱい一日で
した。
- 第八回文化講演会(11・13)
- 今年後半は牛場信彦先生(十一月
二十八日対外経済担当国務大臣
に就任)を講師に。演題は「ア
メリカを語る」。
- 公社電話自動化に(11・30)
- 待望の公社電話が十一月三十
日午後二時「ダイヤル即時通
話」になった。

第十三回加茂駅伝大会

今年もやったぞ!! Aチーム 五位入賞

十二月四日、八百津町を出発して美濃加茂市までの二十・八キロを六区間に分けて健脚を競う第十三回加茂駅伝大会が開催され、本村からも二チームが出場しAチームが五位に入賞するなど健闘しました。

選手の方々はこの日のために十月から練習を始め、一日八キロから十キロを走り猛練習を続けてきました。その結果東白川は順位では昨年



△ 健闘した選手の皆さん

の大会と同じ五位でしたが、一時間八分十三秒という前回の記録を上回るタイムになりました。この加茂駅伝も年々レベルが上がり、高校生や大学生も参加するようになりましたが、十九チーム中堂々五位入賞は日ごろの練習のたまものといえます。

また、この大会で神付の安江宏さんが三区で区間賞を獲得しました(東白川で四人目)とかくソフトボールや野球など球技スポーツの多い中で、スポーツの基本である「走る種目」に好成績を取めたことは、これからのスポーツ振興に大きな刺激となるでしょう。

さらに今年から連続出場のパテラン組に加えて若い人たちの参加があったことも将来が楽しみです。

今大会の成績と出場選手は次のとおりです。

五位 東白川体協A 一時間八分十三秒(内木正男、安江満久、安江宏、安江千草、今井光、田口光洋)

十五位 東白川体協B 一時間十七分十五秒(村雲陽司、村雲節也、村雲秀隆、安倍徹、安江敏治 早瀬政広)

区間賞 安江宏 三区 九分三秒

村民卓球大会

優勝は平中チーム

十一月二十三日第八回村民親睦卓球大会が東白川体育館で開催され、各地区から十八チーム出場し日ごろの練習の成果を發揮しました。

た。成績は次のとおりです。

(団体)

優勝 平中(服田順二、林裕子、田口哲彦、古田美代子、藤井昭司) 準優勝 平東C(安江正光、和田とめ、安江まつゑ、林正二、安江武司)

三位 陰地(安江浩、後藤愛子、安江起代美、河村政直、桂川よし) 三位 上親田A(安江三子男、早瀬政広、交吉常子、伊藤勉、田口澄子)

(個人)

優勝 一般男子 安江 司 一般女子 古田美代子 三十歳以上 鳴倉捷司 四十歳以上 和田丑夫 中学男子 田口保志 中学女子 安江克子

地震で一番恐ろしいのは火災です。東白川村火災予防条例では、液体燃料を使用する移動式のストーブは地震などで倒れたり傾いたりしたとき自動的に消火する装置か自動的に燃料を止める装置が

耐震装置つきのものでない使用できない

耐震装置のついたものをお求めください。これからのよいよ火を使うことが多くなります。火の元には十分注意してください。

ただし、この規定では昭和四十九年九月一日以前に購入したストーブは耐震装置がなくても使用できるよう猶予期間がもうけてあります。

季節の話

百人一首の中に
「あいまての後の心にくらぶれば、昔はものを思はざりけり」とか、芭蕉の句に
「道の辺のムクゲは馬に食われけり」とあるように、和歌や俳句などではものごとが終るときや、きまりがついたという意味で、けりとかけるなどが文章の終りに多く使われています。

私たちがこの問題はケリがついたとか、仕事にケリをつけるなどというケリは、和歌などで使っているけりから転用したものだといわれています。

ところでもう年末。新しい年を迎える前に、私たちの生活でもしっけりケリをつけ、さっぱりした心境でこの一年を送り、新しい年を迎えたいものです。

師走

十二月をなせしわすといふのかいろいろの説があります。一般的には、寺小屋の師匠も走りだすほど忙しい月ということですが、十二月はお坊さんと呼んでお経を上げてもらう月で、「坊さん(法師)が忙しく走りまわる」というのもあります。また、春夏秋冬「四季の果つる月」が短かくなつてしわすとなったともいわれています。いずれにしてもあわただし

一年のけり

青少年の健全育成 環境浄化は大人の責務

次の世代を担う青少年が健全に育ってくれることはすべての人の願いです。勉強にいいし、スポーツに打ち込むはつらつとした青少年を見るほどうすがいいものはありません。大部分の青少年は心身ともたくましく伸び伸びと成長しているのです。

しかし、一方で、ほんの握りの青少年が非行にはしり、マスコミで大きくとりあげられています。そしてその非行の輪が徐々に広がっているのも事実です。

その原因はいろいろあるでしょう。大人の作りだす悪い環境、青少年自身に問題のある場合など、社会、家庭、個人それらが重なり合って非行へつながる青少年をつくりだしているのです。

よい環境づくり

そこで青少年の健全育成にとりくむ美濃加茂地区の小中学校校長会、高等学校校長協会、連合PTAなどの皆さんが中心となって、

環境浄化にのりだしました。環境浄化運動のいっかんとして映画の看板やポスター、俗悪な週刊誌の販売や自販機の廃止などを関係業者へ呼びかけ、予想以上の成果があがっています。

校外生活のきまり

こうしたよい環境づくりを推進するとともに、青少年自身にも規律ある生活をしてもらおうと次のような美濃加茂地区小中学校児童生徒「校外生活のきまり」が設けられました。

- ・登下校時に店へ立ち寄って飲食しない。
- ・特別に用事のある場合のほかは、夜の外出をしない。
- ・次の場所へは原則として出入りしない。
 - （ボーリング場、スケート場、バッティングセンター、ゲームコーナーなど）、自販機コーナー
- ・用事のない限りスーパーマーケットへの出入りをしない。
- ・友だちの家などでの外泊をしない。
- ・旅行などは親の承認を得、責任者がつかなければ行わない。
- ・冬休み、正月と、ややすると生活がゆるみがちとなります。他人の子供でも注意できる大きな愛がほしいものです。

こんなことは やめましょう



★てんせんのちかくでは「たこあげ」「ユーコン」あそびはやめましょう
★「てっとう」「でんちゅう」にはのぼらないようにしましょう
もし、「てんせん」にかけたときはちかくの中部電力へれんらくしましょう

日本人は一年間に一人平均七回も風邪をひくという統計があります。あなたはいかがですか？

風邪はなぜひくか？

のどや鼻をそれに気管（これらを気道という）には風邪をおこすウイルスが無数に住みついています。

急に寒くなったたり、体が冷えたりするなどの外界からの刺激があつて、体の抵抗力が一時的に低下したとき、このウイルスが活発に繁殖します。

その結果

その部分が炎症をおこし、これが風邪だという説明があります。しかし、厳密に風邪がなぜおこるかというところは、はっきりわかりません。

いずれにしても、気道におこった炎症を医学的には「風邪症候群」とよび、これを私たちは「風邪」というわけです。

そしてこの風邪は寒さや冷たさが原因でおこるのではなく、それは「きつかけ」であり、この「きつかけ」は寒さのほかにもいろいろあります。

暮らしと健康



風邪にうち勝つ ㊤

風邪をひく「きつかけ」

冷えこみ、気候の変わりめ、外温の変化、湯あがりの冷え、夜ふかし、寝冷え……などの体温調節障害

タバコの吸いすぎ、汚い空気、ゴミを吸う……鼻咽腔刺激

疲労、気のゆるみ、睡眠不足など……抵抗力減退

風邪を防ぐ力

前に述べた風邪をひくきつかけをつくらないことが大切です。

とくに体の抵抗力の強いときはひきにくいものです。逆に風邪のひきやすいときは体の抵抗力が弱まっています。

まっているときだといえます。常日ごろから体をきたえておくことが風邪を防ぐための大きな力になります。

日ごろ栄養豊かな食生活をしていいるから抵抗力があるとはいえません。

栄養ももちろん大切ですがそれと同時に運動です。

現代人は栄養はとってても運動不足

社会福祉の推進者

新しい民生委員決まる

十二月一日、民生委員の改任が行われ、十人の民生委員が決まり七日に厚生大臣からの委嘱状が伝達されました。

民生委員は児童委員を兼ね、生活保護家庭はもちろん生活保護に転落する前の家庭に手を差し伸べ生活指導や家事相談を引き受けま

す。また恵まれない環境にある子供の指導や相談にのり、体の不自由な人、お年寄りや夫を亡くされた人などの相談も受けま

す。このように民生委員は幅広く、たえず地域に目を配り、必要があればその家庭へお伺いして相談に

応じますので気軽に相談ください。

今回の改選で桂川繁子さん(日向)が十八年間、安江繁一さん(平)が十二年間民生委員として地域の社会福祉向上に活躍いただきましたが退任されました。

民生委員と担当地域

- 大口 村雲ミツ子 大口、平十二班、西洞
- 平 田口 泰造 平(十二班を除く)
- 上親田 安江 弘 下親田、上親田、中通下
- 中谷 村雲 邦雄 中通上、神付
- 中谷、加舎尾

日向 今井 つゆ 曲双、日向

陰地 松岡 政吉 陰地

黒潮 安江錠太郎 栃山、黒潮

大明神 田口迪夫 大明神

柏本 栗本さとえ 柏本、久須見

大沢 今井 一雄 宮代、大沢、下野

国保の保険証

来年一月一日で更新

国民健康保険の被保険者証が来年一月一日から新しくなります。

これは二年ごとに国民健康保険の被保険者を確認するため行われるもので、今まで使っていたブルーの保険証は今年いっぱい使えなくなりま

す。来年一月一日からは黄色の保険証を使ってください。

似てるかな



ぼくのおとうさん

五加小1年 栗本 征典
一 柏本 栗本錠一さん二男

ぼくのおとうさんは、
おわたのまつだまはた
らいています。
おとうさんは、あさ
おこしても なかなかお
きません。
やきゅうがすきで
んしんのふあんです。
ぼくは おとうさんが
だいすきです。

暮らしのカレンダー

*各小中学校第2学期終業式

12月26日
冬休みに入ります、家庭生活は規則正しく。

*新春バスケットボール大会

・とき 53年1月2日午前9時から
・ところ 東白川体育館
中学校の卒業年度別にチーム編成をします。ふるって参加してください。

*新春バレーボール大会

・とき 53年1月3日午前9時から
・ところ 東白川体育館
中学校の卒業年度別に男女混合でチーム編成、もちの食べすぎ、飲みすぎ、テレビの見すぎで体が変調になっています。スポーツでスッキリと。

*各小中学校第3学期始業式

53年1月9日
皆んなそろって元気に登校しましょう。

*妊婦学級

・とき 53年1月11日午前9時から
・ところ 村民センター
・対象者 妊娠前期の方

*成人式

・とき 53年1月15日午前10時から
・ところ 村民センター大集会室
式典のほか、祝賀行事として、福引き、もちつき意見発表など計画しています。
村内の成人該当者17人。村外の方も参加できます。(参加を希望される方は早目に教育委員会へお申し込みを)

*二種混合予防接種

・とき 53年1月19日午後1時30分～
・ところ 東白川病院
・対象者 昭46.11.1～昭50.10.31生の未接種者と追加

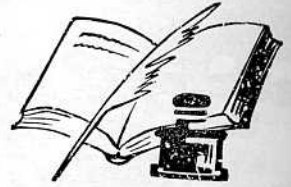
*村子供会卓球大会

・とき 53年1月22日午前8時30分
・ところ 東白川体育館
各地区毎にチーム編成、当日は子供たちにご声援ください。

*妊婦学級

・とき 53年1月25日午前9時から
・ところ 村民センター
・対象者 妊娠後期の方

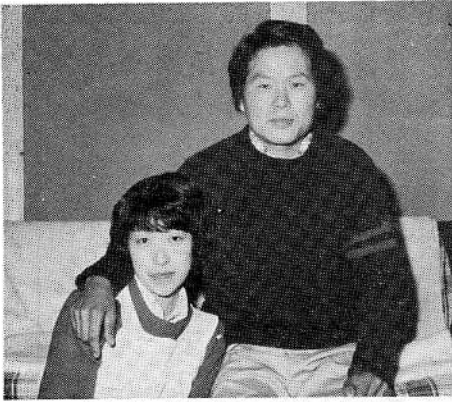
民俗風俗あれこれ



—村誌編さん室日より

人の一生

新婚です



加舎尾 村雲昭二・恵子さん夫婦

昭二さんは、神付村雲康平さんの二男、卒業と同時に静岡の製茶機製造会社へ勤務し昭和45年に村に帰り、現在は山田建設でバックホンのオペレーター（運転技術者）。多趣味でこり性である。狩猟、写真、ステレオそれに釣りからタカブの巣取りまで……。

恵子さんは黒淵安江正義さんの二女。結婚前は農協の窓口でさわやかな笑顔を見ることができました。

昭二さんのお兄さんと恵子さんのお姉さんが結婚されており、きょうだい同志の夫婦。

けんかかしても（ジャレ合い程度とか）一夜明けるとすぐ仲良し。加舎尾の新居に文字どおり水入らずの甘い甘い生活。来年は3人家族に……。 9月16日結婚



西洞 今井 光・礼子さん夫婦

光さんは村の養蚕後継者の一人である。年間80箱を飼育する大規模養蚕農家。昭和50年8月には企業養蚕をめざして努力が認められ、中堅青年海外派遣に選ばれてヨーロッパで新しい農業経営などを研修。

礼子さんはお隣の白川町水戸野の出身で、光さんのお母さんの生家とは隣部落の関係で、10年も前から茶畑を借りたり、猫がもらわれていったりの間柄。

妹の由里子さんから見た兄夫婦は、「仲の良いことこの上なし、私も刺激を受けてしまいました」（来年4月に結婚の予定）

笑いのたえないこの夫婦には「夫婦げんか」などありそうもない。好美さんをはじめ明るいほのぼのとした、家庭である。

世帯主 好美さん 11月12日結婚

よろしく

【結婚その六】
祝言（三）

三三九度の盃事の儀式が終ると席を改めて、こんどはひろう宴である。

正面に着座するのは両家の仲人その両脇に親せき総代、以下招待客という順序で、現代の新郎新婦を中心とした席順とはがらりと変っていた。

また、婿はいったん席に着くがあとはほとんど給仕など客の接待に終始する。

祝宴はまず最初に座付きの膳が出る。座付きの膳に載せられている吸物は、俗におかちんといって堅い「もち」が一重だけ入っており亭主番の口上があつて、お腕の中もちを紙に包んで膳の脇

に置く。

そのあと神前の冷酒を一献つづいたところで二つ目の吸物が出され、かんをつけた酒が出てあとは宴会となる。

宴会の程度は嫁方より規模が大きいのが普通で、嫁方の宴会で吸物が三度なら、こちらは五度と回数もふえる。吸物がかかる毎に酒が勧められ、宴はたけなわとなる

へめでためてたの若松様よ、枝も栄える葉も繁ける……などの祝い唄に始まり、踊りや隠し芸などもとびだし、酒宴は夜を徹して続けられ、本膳が出るころには、東の空が白々と明るくなることもあつた。

宴会の一切が終わったところで、こんどは花嫁の給仕で、一同いっぺ茶をいただく。花嫁にとっては、

当日最後の正念場である。

おおぜいの客たちの注目のうちに、目八分に茶盆を捧げ、畳のへりを踏まぬよう心を配りながら正面のお客から一人ひとりにお茶を飲んで運ぶ。随分時間もかかり、せつかくのお茶も冷えてしまうが全員にお茶が配られるまでは静かに待つことが礼儀とされた。

当日都合で招くことのできなかつた親せきや近隣、友人などは翌日招いて祝宴を催し、交際の広い家では、これが二座敷も三座敷も続くときもあつた。

最後は「あとふき」といって、祝言当日の調理方やお勝手仕事、使い走りなど、近親や手伝いの人たちに、残りの肴や酒をふるまうてその労をねぎらった。

▼ 今月の料理 ▲

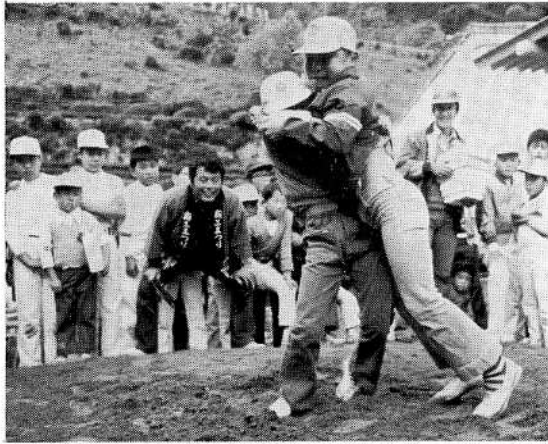
白菜と塩ザケのしぶ煮
材料（四人分）白菜：六百五十g
塩ザケの切り身：二百g
ゴマ油：大サジ二
煮出汁：三分の二
塩、化学調味料塩少量
作り方

①白菜は縦に2つに割り3等長さに切る。

②塩ザケの切り身は、長さ5cmぐらいのうす切りにする。

③鍋を熱してゴマ油を熱し、白菜を入れてやわらかくなる迄いため、煮出汁をさし煮立ってきたら②を入れて煮る。

④全体がよくなじんで、やわらかに煮えたら味をみて塩と化学調味料で整え水ごきの片栗粉でとろみをつける。



はっけよい のこった、のこった

11月25日の越原まつりで相撲大会があり、盛りだくさんの賞品にちびっこ力士約70人が大ハツスル。村での相撲大会はめずらしく、まつりに集まった人たちは土俵をとりまき力を入れての声援。また隣の茶工場に設けられた仮舞台では演劇や手品などが繰り広げられました。

日向松岡進さん
二女
瑞浪市稲津町
麗沢瑞浪高校
松岡 教

日増しに冷えこみが厳しくなっ
てまいりました。東白川の皆様い
かがお過しでしょうか。
二年生ともなると学校生活、寮
生活にも慣れ、生活にゆとりがも
てるようになりました。それに六
月に新しく女子寮が建設されまし
たので旧寮と比べたら、ずっと生
活しやすくなっています。

新寮は鉄筋コンクリート三階建
てで、お部屋は各学年二人づつ六
人で構成されています。各部屋は
和室と学習室に分かれていて一人
ひとりの個室がつくってあります
ので勉強もしやすくなりました。
寒い思いをした昨年の今ごろと
比べたら、まったく恵まれた生活
です。すばらしい環境で生活でき

るのも、数多くの方々にお世話に
なっているおかげだと感謝の念で
いっぱいです。
ここでの三年間の生活は考えて
みれば私たちの年齢ではほんとう
に耐え難いものかもしれませぬ。
一般の高校生に比べたら厳し
すぎるほどの規則や、上下級生、
友だち同志の人間関係など時には
いやになってくることもありま
す。
しかし、人生の中でこのような
厳しさや、つらさを経験するのも
今の私たちには大切なことではな
いかと思っています。そしてまた
一般に学問といわれるものを学ぶ
だけでなく、人間として当然必要
な道徳をも学んでいかなければな
らないと思います。

厳しい中に恵まれた生活

いつも忘れない感謝の気持

ふるさとへの便り



年の贈り物

あなたの作品を
お寄せ下さい

- ・初心者、特に若い人達の投稿を歓迎します。
- ・毎月末までに神戸田口良三宛に出して下さい。

唯ひとつ甲斐なき我に成し得るは歃血の日にその血を献ぐ

若き日に吾をすてたる母なれど今は怨まじ姑と呼ばれて

近在に幼き子等の声絶えて家族計画うらめしくもあり

木は育てど紅葉も芽えず鳥鳴かず峽のさび田に減反迫る

打ち込みし歎に確かに手応へて地割れの甘薯に汁の滲めり

肌寒くしぐれ空なり雪も近し軒端に雪蚊漂いて舞ふ

病む姑の愚痴を溜め来て川洲にし瓶の汚れ幾度も洗ふ

嫁迎ふ吾子の横顔見つめつつ思ひて居たり若き日の亡夫を

贅屑を払い夕の窓の陽に明日を祈れり吾も老いしぞ

工事場の仕掛発破に砕けたる石が秋空裂きて飛び散る

三十年の月日を野辺の奥津城に祖先の伴して吾児は眠れり

暮の露上りたるらし稗をひく吾のモンベはしと濡れたり

歃血を無事に終りて祈り居り病もつ人疾く癒えませと

初孫の産ぶ湯をつかふ手のこわさ体汗ばみて年令をぞ思ふ

貰ひ来て苗より育てしまゆみの木丈低きまま実を結びたり

山の端を蒼く明るく照らし出す稲妻にして音は聞えず

泥んこが頭の上にあるような雲蹴散らして天馬よ翔けろ

田口 良三

香

田口千代美

高木 三年

加藤 公一

安江 幸

安江 勤吾

村雲貴枝子

林 一枝

東 新

田口 すと

伊藤 重雄

西村 澄

今井 修子

古田 善子

下野 安江とし江

下野 今井 米子